

旅館業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	8~9	朝食の対応中にコーヒーの出し終えた粉を捨てようとして移動していた際に、誤って鍋にぶつけてしまい、反動で左腕、手首付近にかけてしまい火傷を負ってしまった。	55	10~29
2	11~12	二ヶ所ある調理場の移動時、外の木材が釘打ちされた渡り通路に敷いてあるタンポポマット（凍結の滑り止め用）につまずいて転倒した。軽量の食材が入った買い物かごを持っていた為、両手が同時につかなかったのだと思われる。左側顔面と左手小指（骨折）、右肩を強打し負傷した。（厨房シューズを履いていた。）	66	10~29
2	10~11	レストラン内に置いてある、ボックス型つい立てを1人で移動中、向きを変えた際に倒れてしまい倒れたつい立ての上部に入っていた、ステンレス製の箱が右脚のふくらはぎに当たり、裂傷し、出血してしまった。	63	30~49
2	18~19	カラメルソースを作成中に誤って火にかかっている鍋をひっくり返してしまい、ソースが右手にかかって受傷した。	25	300~499
2	9~10	食事を切る作業で、出刃包丁で生のタケノコを押さえながら切っていたところ、皮のついたタケノコが固い上、不安定であったため、左第3指くるぶし部分を切傷した。	35	500~999
3	0~1	大浴場の整理（掃除）終了後、出口に敷いてあるスノコで滑り転んだときに、左手を後ろにつき、左手人差し指を痛めた。	68	10~29
3	12~13	被災者が昼休憩をとる為、正面玄関横通用口より外へ出ようと高さ約30cmの段差を下りようとした際、段差下に子供用下駄があることに気が付かず、右足で下駄を踏んでしまい、バランスを崩し転倒し、右足小指下付近を骨折した。	67	30~49

3	13~14	女子ロッカー（脱衣所）で床のほこりを粘着式クリーナーで取っている際、姿勢を崩し左足に大きな負荷がかかり、骨がピキッと鳴った。	35	100 ~ 299
3	14~15	補充作業中、リネン室から裏に出る時、リネン袋に引っ掛かり転倒し、排水溝の鉄板の角で膝を打った。	45	10~ 29
3	14~15	客室清掃で掃除機をかけ終え、次の部屋へ移動しようと、リネン庫の横にあるコンセントを抜こうとして、使用指定していた掃除機のコードに足が引っ掛かり、転倒した時、壁に手をぶつけ右手を負傷した。	66	30~ 49
4	12~ 13	ホテルキッチンにて、トレビスという野菜の芯を包丁にてくり抜いている時、包丁が切れすぎてしまい野菜を通り越し、誤って手のひらまで切ってしまった。	25	300 ~ 499
4	10~ 11	皿をボックスに数十枚入れて持ち上げようとした時、重すぎて腰に負担をかけ過ぎてしまった。	63	30~ 49
4	20~ 21	客室に料理を出すため膝の上に料理を置いたお盆をのせ、襖を開け、立ち上がろうとした際に着物の裾を踏んでしまった。料理を落としてはいけないと思いお盆を畳の上に置こうとしたところ、お盆に親指を挟んだ状態で身体を支えようとした為、親指に体重がのってしまい左手親指を骨折した。	61	50~ 99
4	19~ 20	ホテル施設内19Fの洗場において、シンク内のゴミ受けのゴミを処理中、ゴミ受けの金具に接触して左親指付近を裂傷した。	56	100 ~ 299
4	20~ 21	ホールで片付け中、テーブルを動かそうとした際に折りたたみ式の足の部分が曲がってしまい（ロックが甘かった）、テーブルの角と乗せていた食器が足の甲に落下し、右・第五中足骨を骨折する。	42	—
4	10~ 11	5F客室の電気のカサの上の掃除するため、机の上にイスを置き高さ80cmから作業が終わり、下りようとした時に足元がぐらつき落ちた。腰と右手を強く打ち、声が出ない程の痛みがあった。	73	50~ 99
	13~	ホテル2階で宴会打ち合わせ中、遊びコーナーを設け、遊具を試行したところ、		100

4	14	下りる時に体重移動と遊具の動きが合わずにバランスを崩し、後ろに転倒した。	44	～ 299
5	21～ 22	B1宴会場にて会場設営のため台車からテーブルを下ろそうとしたところ、台車に乗っていたテーブルが崩れ右足に落下した。	64	500 ～ 999
5	21～ 22	35階宴会場のバック通路にて宴会の後片付け中に、丸卓の上に置かれていたガラス製のターンテーブルを持ち上げ台車に直そうとした際、台車にのせきれず重さのために手が滑り、自分の右足人差し指の上に落としてしまい骨折した。	19	300 ～ 499
5	11～ 12	当社事務所において、売店（コーナー）で販売している商品の状況をパソコンに入力する作業（商品管理）を始めようとした。椅子（キャスター付き）の背凭れを持ち椅子を引き、腰掛けようとした。背凭れから手を放し腰を下ろしている時に、膝の裏が椅子に触れキャスターが動いて椅子の位置（座面）が少しずれてしまい、床面に尻もちをついてしまった。	61	50～ 99
6	13～ 14	館内の空調清掃中に、椅子から落ちて打撲した。	65	30～ 49
6	7～8	ホテル調理場で、寸胴に入った汁物を冷ますために水をはったシンクに入れようと2人で持ち上げた時、バランスが崩れ、熱い汁が右手の甲から腕にかかり、皮がむけた。	18	100 ～ 299
7	15～16	3階宴会場にて、宴会の後片付け中、1人でテーブルを移動・たたむ作業をしていたところ、テーブルが傾きテーブルの下の金具部分が眉間の下部に当たり、横に切れた。	38	10～ 29
7	14～15	宴会洗淨エリアの食器収納棚上に置いてあった番重を、踏み台を使用せず無理な体勢で取ろうとした際に上部の番重が落下し額にあたってしまった。	58	500 ～ 999
7	19～20	厨房に出ていた鍋を洗い場に移動させる際、鍋の取手を持ったところ、片方だけ熱くなっていたので、取っ手を持った左手（人差し指・中指・薬指）を火傷した。	63	30～ 49

7	13～ 14	調理場にて玉ネギの芯をペティナイフで切り取る作業中、着けていたビニールグローブが濡れている状態にあり、誤って玉ネギを持っていた右手の親指の根元に左手のナイフが刺さる形となり、屈筋腱断裂となる。	20	～ 499	300
7	15～ 16	昼営業を終え、テーブル（幅90cm、奥行90cm、高さ72cm）を定位置へ片付けようと両手で持ち上げ運搬していたとき、腰がギクツとなり痛めた。	62	～ 499	300
7	15～ 16	スライサーで食材をスライス中、スライサーの刃で右手中指の甲側を切った。	64	50～ 99	
9	10～ 11	レストランにおいてテーブル上にある箸箱を回収してワゴンに集めていた際、箸箱がワゴンから落下し、右足の甲に落ちたものである。	44	50～ 99	
9	5～6	1階宴会場グランプリモの厨房にて、朝食バイキングを準備している際に、温蔵庫にある陶器のお皿を右手で取り出し床へ落とす。そのお皿が割れて破片が跳ね返り右手薬指を損傷。	29	～ 299	100
10	20～ 21	宴会場において、神前式の設営を行うため、壁の高いところに御簾を取り付ける作業を行う際、会議用の長テーブルの上に乗って作業を行っていたものの、会議用テーブルの脚が老朽化によって突然折りたたまれ、バランスを崩し落下。右足首を負傷した。	46	50～ 99	
10	17～ 18	宴会準備中、ステージに継ぎ足してあるダックステーブルに乗ってしまい、バランスを崩しテーブルごと転倒、首・右腕を打撲した。	38	～ 9999	1000
10	14～ 15	施設内併設のボーリング場にて、毎週金曜日にスタッフとお客様が対戦するイベントを開催しているが、当日参加可能なスタッフがおらず、代わりに参加したが（業務として業務時間中）、投球時、足を地面についた直後、ブチッと音がして肉離れをおこし負傷した。	47	～ 299	100
10	10～	4階従業員用女性トイレを清掃作業中、下駄ばきスリッパへ履き替え、履き替え用すのこを、洗面台側から個室側へ斜めに乗り越えようとした。その際、清掃用具が入っているプラスチック製のカゴを左手に持ったまま左足がすのこの角に	60	～	500

	11	引っ掛かり、左手から転倒した。カゴと身体の間で左手を挟み、カゴ・左手を下敷きにした状態で体重がかかり、カゴの縁で左の掌側面を長さ5cm程切り出血した。		999
11	15~16	ホテル3F中華厨房内において、仕込み作業中に立场上部下である方に仕事の事で注意をしたところ、逆上し、首の右後に片手鍋を投げつけてきた。痛みとめまいにより、その場に倒れ込む形になり、1日様子をみたが変わらず緊急で受診した。	30	100~299
11	17~18	館内9階にあるお食事処のパントリーにて、沸騰した味噌汁を入れた鍋（やかん）の蓋が左手に滑り落ちてきたため火傷を負った。	25	50~99
11	11~12	ホテル内事務所にエアコン清掃作業の際、椅子に乗ってエアコンフィルターを取り外す時、バランスを崩して転倒した。お尻から落下のため、地面に強打し、損傷した模様である。	26	30~49
12	19~20	ホテル客室の掃除をしている時、テーブルとソファの間があいていたので手前に引いたところ、重いテーブルだったので力を入れて引っぱった際、足の親指にあたって爪がはがれた。	64	10~29
12	15~16	移動式シェルフにて運んできた大きめ3個のザルとボール（直径約50cm）を洗いの奥に運ぼうとした際、躓いて転倒した。通常は床に設置しているマットが、大型洗浄機の修理のため、2つに折った状態で置かれていて、持っていたボール等が死角になり、マットに気づかず転倒した。その際に前方へ倒れ、右足を強打した。	73	300~499
12	14~15	連泊している客室のベッドメイク中に、ベッド足元の加湿器に気がつかず、足を引っかけて転倒した。	55	30~49
12	11~12	鯖を切り身をしているとき、指を切った。	64	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html

